

《高女グローバル研修 in USA Day5 (12月12日) 報告書》

冬晴れのボストン4日目。今日は希望参加制にて、朝8時より Reflection (冒頭なので恰好よく言ってみました、要は中間ミーティングです)を行いました。昨日の報告書の終わりにも少し書き連ねましたが、語学学校の残り2日間がカウントダウンの消化試合にならないように、チームというよりも個としての背中を押すべくこのタイミングでの設定です。今回プログラムのインターンとしてサポートしてくれている鴨島舞さん(金沢大学)は自身も高校時代ボストン研修の参加者でした。彼女がボストン研修できなかったことの後悔が、大学時代のアメリカ交換留学につながる原動力となり今があるのは確かですが、でも今この場にいる高女生はまだ間に合うのです。できなかった、というよりやらなかったという後悔を残さないために、今できたことが今後の人生にどうプラスに作用していくか、先生、私たちそれぞれの立場からもメッセージを送りました。

早速休憩時間の使い方に違いが見えました。廊下が、ロビーがいつもより騒がしい。チョコレートに、キャンディに、なぜか歌舞伎揚げ(渋いな!)までがロビーを行き交います。でも彼女たちは分かっています。お菓子を渡すことが、写真を撮ることが目的ではないことを。これをきっかけとしてその先を見つけていることと思います。早速昼食に誘い留学生と外に出ていく姿もありました。

鴨島さんから「動きが変わってきましたね!」と嬉しそうに報告が。

私たちはチームとして、悩みながらもこの研修を本当の意味で最高のものにすべく奮闘中です!

日記にも様々な思いがあふれていました。(途中で明らかに寝落ちしたであろう作品も。それだけ心身ともに使い果たしているのですね。)当初は戸惑いや驚きが、その後楽しさ、喜びに、そして今焦りや悔しさという表現も出てきています。振り返ればまだ4日目(移動含めても5日目)、この4日間でどれだけのストーリーがあるのかと思うと、改めて生徒さんたちが経験している1日の濃さが覗えます。でもまだやれることはありますね。

午後は昨日に続きハーバード大学公衆衛生学大学院博士研究員の木野志保先生によるレクチャーです。昨日の質疑応答時に出た内容を深化させ、また今回はご自身の経歴、研究内容についてもお話いただきました。

木野先生は国内にて健康社会学の修士号を取得されたのち、イギリスの名門 King's College にて博士号を取得、そして現在のハーバードでの研究に至ります。打つ手が震える程の経歴をお持ちですが、木野先生のレクチャーは生徒1人1人の表情を見ながら、語りかけながら進めてくださいます。イギリスに渡った経緯は教授に「海外が向いていそうだから」と2度勧められたことがきっかけだったこと、またハーバードの現在の教授(最も尊敬する方と仰っていました)も、イギリスにいる際ダメ元でメールを送って見たら「会おう」と5分後に返事がきたこと。まさに巡りあわせだったそうです。木野先生のモットーは「ダメでも害なし」。迷ったら退くのではなく、TRYしてほしいとのメッセージは、今まさに生徒さんが置かれている立場、もっと言ったらやはり今後の進路に向けてもダイレクトに響くものであったと思います。

「どこでやりたいではなく、何をやりたいか」

この言葉の深さたるや。場所ありきではないこと、自分が最もやりたいことが叶う場所がたまたまアメリカなのか、イギリスなのか、場合によっては日本かもしれません。楽しさ、興味を追求することが人生を豊かにしてくれる、でもやはり一度は外に出た方が良いというのは、これまでお会いしてきた方からの共通のメッセージと感じました。

質問にも根気強くお付き合いいただき、2時間超に渡るレクチャーは終了となりました。

「もっと聞きたいことがあったらいつでもメールしてください」と連絡先まで開示くださいました。

ご自身の研究とは全く異なる今回の講演依頼に対してここまで心を砕いて与えてくださった、木野先生のエネルギーの源は何なのだろうか。

このような素晴らしい女性からの最大限のエールを受けて、さあ、高女生どうしますか!

5年先の未来も大事、でもまずは今この瞬間の全てと本気で向きあう時のように思います。チャンスをものでできるのが一握りの人間だというならば、自分がその一握りになればいい。

TAKASAKI Girls! Be ambitious!! 明日へ続く。



AM7:30 のボストンコモン



授業風景



いいね!



Awesome!



あ、カメラよ!



お、カメラか!



JOKE 大好き先生



Girls' Talk



Girls' Talk②



Fighting with smile



番外編：初めての両替 @TD Bank



木野先生のレクチャー



生徒に向けた眼差しの優しさ
本当に素敵な女性です!
木野先生はどこ?? →

